

『農学職 総まとめ講座 植物病理学』(KU17373)

訂正表

2023年3月1日現在

ページ	訂正箇所	訂正内容		掲載日
P. 2	7行目(4)の冒頭	誤	完成させた生物から	2019/4/26
		正	<u>感染</u> させた生物から	
P. 8	1(4)の3行目	誤	テレモルフ, telemorph	2022/3/9
		正	テレ <u>オ</u> モルフ, teleomorph	
P. 8	図2.2の左端	誤	無性胞	2021/5/28
		正	無性 <u>胞</u> 子	
P. 20	表2.5の「ウイルス名(例)」欄 上から3段目	誤	トマト黄化葉巻ウイルス(TYLDV)	2019/4/26
		正	トマト黄化葉巻ウイルス(TYL <u>C</u> V)	
P. 20	表2.5の「核酸の種類」欄 下から2段目	誤	分節ゲノム棒状	2021/5/28
		正	ゲノム棒状 ※ TMVは単一ゲノム, 他の2つは2分節	
P. 28	表3.5の「サビ病菌」欄 上から7段目	誤	ナシ赤星さび病菌	2019/4/26
		正	ナシ赤星病菌	
P. 35	表3.8の「ウイルス名」欄 上から10段目	誤	トマト黄化葉巻(TYLVV)	2019/4/26
		正	トマト黄化葉巻(TYL <u>C</u> V)	
P. 35	表3.8の「ウイルス名」欄 上から18段目	誤	オオムギ縮萎縮(PaYMV)	2021/5/28
		正	オオムギ縮萎縮(<u>B</u> aYMV)	
P. 39	11行目(3)の緑・青かび病	誤	緑・青かび病(<i>Aspergillus</i>)	2019/4/26
		正	緑・青かび病(<i>Penicillium</i>)	
P. 39	表3.9の「病原菌」欄 上から6段目	誤	<i>Penicillium</i> spp. (子嚢菌)	2019/4/26
		正	<i>Penicillium</i> spp. (子嚢菌)	
P. 45	上から10行目	誤	表4.1	2021/5/28
		正	表4.2	
P. 54	上から18行目	誤	フォスファジル酸	2021/5/28
		正	フォスファチジン酸	
P. 62	上から3行目	誤	植物が病原体の攻防	2021/5/28
		正	植物 <u>と</u> 病原体の攻防	
P. 76	上から16行目	誤	透露地栽培	2021/5/28
		正	露地栽培	
P. 77	表7.1の「備考」欄 上から2段目	誤	菌寄生, 出荷1.1億円	2019/4/26
		正	<u>溶</u> 菌・競合作用, 出荷1.1億円	
P. 77	表7.1の「微生物」欄 上から5段目	誤	<i>Pseudomonas fluoresces</i>	2019/4/26
		正	<i>Pseudomonas fluorescens</i>	
P. 79	8行目③の冒頭	誤	<i>Pseudomonas fluoresces</i>	2019/4/26
		正	<i>Pseudomonas fluorescens</i>	
P. 79	上から14行目	誤	PGPF	2021/5/28
		正	PGPR ※ 2ヶ所修正	
P. 82	表7.2の「代表的な農薬」欄 上から7段目	誤	オリザストロビン	2021/5/28
		正	オリサストロビン	

P. 90	下から 12 行目	誤	オリザストロビン	2021/5/28
		正	オリサストロビン	
P. 106	上から 11 行目, 19 行目	誤	黄色の密滴	2021/5/28
		正	黄色の蜜滴	
P. 115	上から 7 行目	誤	<i>Peronospora forinosa</i>	2021/5/28
		正	<i>Peronospora farinosa</i>	
P. 118	2 行目の後半, 8 行目の中ほど	誤	<i>Clavibactaer</i>	2019/4/26
		正	<i>Clavibacter</i>	
P. 136	[No. 23] 問題文	誤	妥当なものの組合せ	2021/5/28
		正	妥当なもの全てを挙げている組合せ	
P. 145	[No. 12] 肢 5 の解説文 2 行目	誤	クロロピクリン	2021/5/28
		正	クロルピクリン	
P. 148	[No. 22] 正解と肢 4 の解説文	誤	[No. 22] 正解 5 4 × プロベナゾールはイネいもち病に対する抵抗性 増強剤である。	2023/3/1
		正	[No. 22] 正解 4, 5 4 ○ プロベナゾールはイネいもち病に対する抵抗性 増強剤でもある。 ※プロベナゾールは、最初にいもち病防除剤として 開発されたが、水田でのいもち病に対して処理して いる中で、その他の病害にも防除効果があることが 判明し、現在ではイネ白葉枯病, キュウリ斑点細菌 病など、農薬として多くの病害に適用されている。	
P. 149	[No. 26] 肢 C の解説文 1 行目	誤	<i>Burkholderia</i>	2021/5/28
		正	<i>Ralstonia</i> ※ 属名の変更	
P. 150	[No. 29] 肢 4 の解説文 4 行目	誤	QII 剤	2021/5/28
		正	QoI 剤	

※「掲載日」は、上掲訂正情報が LEC ホームページの『公務員 テキスト改訂・修正情報一覧』(<http://www.lec-jp.com/koumuin/info/teisei/>)に掲載された日付です。